

平成 28 年度(2016 年度)第 1 回三者懇談会（吹田市立南保育園） 議事要旨

- 1 開催日時 平成 28 年 7 月 26 日(火) 午後 6 時 30 分～7 時 15 分
- 2 開催場所 南保育園 遊戯室
- 3 出席者 南保育園保護者代表（南保育園父母の会会長ほか）
社会福祉法人こばと会（こばと会理事長、こばと保育園長）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（児童部総括参事、保育幼稚園室参事、
保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室主査、保育幼稚園室係員、南保育園長、
南保育園長代理）
- 4 議題 1 出席者紹介
2 懇談会の進め方について
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第 1 回三者懇談会を開会いたします。はじめにお手元の資料確認をさせていただきます。

（資料の確認）

吹田市： 本題に入る前に、南保育園の移管先事業者決定の経過を御存知ない方もおられると思いますので、経過を簡単にご説明いたします。

南保育園の移管先事業者を選定するために、昨年 11 月 30 日に選定委員会を設置しました。その後、全体で 5 回の委員会を開催し、様々な議論や審査を経て、最終的に社会福祉法人こばと会を選定すると委員会からの答申が得られたため、本市はこの答申を受けて先月の 6 月 27 日に市としての決定を行いました。移管日は平成 30 年 4 月 1 日ですが、この移管に向けて、円滑な引継ぎを行うため、この三者懇談会が本日設置されました。これからは、この三者懇談会において、南保育園の保護者代表の皆様と、社会福祉法人こばと会、吹田市の三者で様々な調整事項について協議を行っていくことになり、本日は皆様に御出席いただいております。

2 出席者紹介

吹田市： では、本日がはじめての開催となりますので、三者懇談会の出席者の皆様につ

いて御紹介をいただきます。

(出席者紹介)

吹田市： ありがとうございます。次に、出席者の皆様から一言御挨拶をいただきます。まず、吹田市から御挨拶いたします。

吹田市： 社会福祉法人こばと会の皆様、南保育園父母の会の皆様、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。平成 25 年 9 月に吹田市が民営化の方針を決定した後、南保育園では 9 回の説明会を行いました。選定委員会において 5 回の審議を行い、社会福祉法人こばと会を南保育園の移管先事業者として選定すると御答申いただきましたので、市として決定いたしました。吹田市の中でもたいへん長い保育の歴史と実績をお持ちである社会福祉法人こばと会が南保育園を引き継いでいただくことについては大変感謝しております。本日は、はじめての三者懇談会です。みなさまの思いを共有して、しっかりと引継いでいただきたいと思っております。

こばと会： こばと保育園は再来年に 50 周年を迎えます。南保育園は先日 40 周年を迎えられたそうで、本当におめでとうございます。私たちは公立保育園を作る運動をしてまいりましたので、今回の選定委員会の結果、こばと会に移管が決まったという点は非常に複雑な気持ちで受け止めています。ただ、国の施策からも、吹田だけがいつまでも民営化をしないというのなかなか難しいですし、これまで持ちこたえてくれたとみるべきなのかなと複雑な思いです。

私たちは、教育や福祉は公がやるべきと思っていますが、選定委員会でこばと会に決まった以上は、できるだけ努力をしていきたいと思っています。子ども達には健やかに育てほしいと思っていますし、働く皆さんが安心して預けられる保育園でありたいと考えています。しかし、お金が沢山あるわけではありません。職員の労働条件や子ども達の育つ環境のことを考えると、すぐには素晴らしいと言っただけないかもしれません。それでも職員と保護者の皆さんとこばと会で話し合っ、何でも合意をして進めていけるような保育園でありたいと思っています。皆さんの色々な意見を聞きながら、思いに沿った保育を行うとともに、何よりも子ども達が幸せに保育を受けられるような環境を作ってまいりた

いと思います。人材がなかなか集まらない等の事情はありますが、皆さん方に大きな力添えをいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

こばと会： こばと保育園で大切にしていることとして、何でも話し合える大人同士の関係作りがあります。保護者の皆様と職員が子どものために色々な事を話し合っており、保育園だけではなくて介護施設も民主的に運営していくことを掲げています。労働組合や保護者の方の間でしっかりと話し合いを行いながら事業を推進しています。情報についてはホームページ等で会計や決算のことも含めてしっかりと地域の方に見ていただけるようにしています。また、第三者評価も定期的を受審し、保育の中身も皆さんに見ていただけるようにしております。保育園は昨年度3園受けました。こばと保育園では園の代表と保護者会と職員労働組合の代表が定期的に三者懇談会を開いています。園の運営のことや、保護者会の要望や悩み、働く職員の思いも共有して、開かれた園運営をしていると自負しております。

こばと会は、自分の土地を役立ててほしいという地域の方からの寄付を受けて1969年に始まりました。当時は、公立を含めて地域の方々が0歳から預けられる保育園がなく、看護師さんや学校の先生の労働組合の方達が力を合わせ、岩崎先生に来てもらい、こばと会を結成しました。こばと会の理事は地域の方々になってもらいました。こばと保育園は1969年に定員60名で開園しました。産休明けから保育し、現在の延長保育にあたる、7時から19時までの12時間保育を全国に先駆けて行いました。お母さん、お父さんのニーズに伝えていくために、皆でお金を集めて園舎も建てました。

こばと保育園は、1970年12月から7時から21時までの保育を実施し、現在は7時から22時までの延長保育を行っています。看護師さんやお医者さんも多く利用されています。1998年には建替えを行って現在の園舎になっています。

2000年には、特別養護老人ホームいのこの里を山田西地域に開園しました。ここも市民の皆さんの寄付や補助金を活用して建設しました。1995年に介護問題で困っている多くの吹田市民が「吹田市内に誰もが入りたくなる特別養護老人ホームをつくる会」という市民団体を作られました。1,000名以上が会員となり、会費や寄付等を集めました。会議を重ね、土地を探していたところ、2000年に吹田市が無償で土地を貸してくれるという公募がありましたが、市民団体では老人ホームの設立ができないため、社会福祉法人こばと会がこの事業を引き受けました。

その後、2003年にさくら保育園を開園しています。さくら保育園は山田南地域にあり、現在60名の定員です。もともとは「さくら共同保育所」として無認可

で運営されていましたが、この保育園を就学前までの認可保育園にしたいという声がかくら保育園や地域から出てきたため、こばと会が引き受けました。

山田東地域のグループホームたんぽぽは、もともと山田付近に住んでいる方が、地域の方のために介護施設を自分で立ち上げたのですが、こばと会が引継いで、現在運営しております。

2006年からは、山田の地域で待機児童が多いということもあり、定員60名のさくらんぼ保育園と高齢者有料賃貸住宅さくら苑を運営しております。

2014年には、山田西地域の吹田市立亥の子谷デイサービスセンターの指定管理者となっています。

今年の4月からは、グループホームたんぽぽの中で、吹田市から委託を受けて介護相談を行っております。

現在は小規模保育事業こばとっこ保育園を建設しています。こばと保育園に入園中で第二子、第三子を考えておられる方が、こばと保育園に入ることが難しいという事情があります。地域でも待機児童が出ているという相談があるなかで、たまたま土地を譲っていただくことができましたので、吹田市と協議をしながら保育園を建設しています。全て市民のニーズに corres 応する形で事業をさせていただいているということをお承知いただけたらと思います。

現在のこばと会の職員総数は298名になっています。一人一人が民主的にものごとを進め、市民に寄り添った事業をするということを肝に銘じて、話し合う事を第一にしています。時には失敗をすることもあります、その失敗を隠すことなく、公開して次に活かすという考えで福祉事業を展開していますので、今後ともよろしく願いいたします。

保護者： 保護者の思いをまとめましたので読み上げます。今回は、南保育園の移管先として手を挙げていただき、ありがとうございました。どのような思いで、受けていただいたのか、私達保護者の思いをどこまで汲み取っていただけるのか、今は不安でしかありません。先日南保育園創立40周年式典がありました。在園児だけでなく、卒園児やOB職員など南保育園を大好きな人達が集まってお祝いをしました。40年の長い歴史の中で、沢山の元気な子ども達が育っていきました。その中には親子二代の卒園児もいます。南保育園には大切にしてきた伝統行事が沢山あります。私達はその大切な伝統行事を50年60年と続けていきたいと考えています。保護者の高い期待に corres 応するのは難しいと思いますが、今の不安が安心に変わるように、子どもを中心に、保護者とこばと会が手を繋いで一緒に新しい南保育園を作っていきたいと思ひます。

最後に、吹田市児童部の皆様へお伝えします。民営化をしなければならないと

判断した後藤市長がこの場にいらっしゃらないことが少し残念です。民営化に伴い、財政負担が年間 8,000 万円削減になるとお聞きしていますので、この財源を不透明にすることなく、未来ある子ども達に使っていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

3 懇談会の進め方について

吹田市： 保護者代表で移管後の南保育園について御要望や御意見を取りまとめていただき、こばと会から次回御回答いただくという形で進めたいと考えています。ただし、内容によっては、回答に一定の期間を要するため、保護者代表から事前に書面でいただき、こばと会に回答の準備をお願いしたいと思いますが、この点について御意見はございますか。

(意見なし)

吹田市： では、当面はそのような形で次回以降開催することとし、次回の開催日程については、こばと会様と保護者代表である父母の会会長様と調整させていただきます。他に保護者代表の方から何かございますか。

保護者： 役員の方が代表で進めていくとのことですが、保護者も加わって決めた中での質問は可能ですか。

吹田市： まとめていただければ結構ですし、日程調整も含めて、皆さんで御提案いただいたものを、調整させていただきます。

保護者： 合同保育まで何回ぐらいの三者懇談会を予定として考えていますか。

吹田市： 合同保育に入るまでに不安のないように回数を重ねようと思っています。回数というよりも内容かと思っています。

保護者： こちらが希望しても児童部やこばと会の都合が合わないということもあると思います。月 1 回やってほしいと言っても 2 か月や 3 か月に 1 回になるかもしれま

せん。年内で何回できるのかという話です。

吹田市： 日程は改めて調整させていただきます。

こばと会： 私や園長の都合が悪い時は、他の者がちゃんと出席して内容が伝わるようになります。2か月や3か月に1回とかではなく、月に1回やりましょうということになりましたら、それに合わせてスケジュールを組んでいきたいと思います。

保護者： あくまでも代表者の質問しか受けないということですか。こういう場面で他の保護者の質問は受けてくれるのですか。

吹田市： 代表の方に取りまとめていただき、やりとりの中で出た質問については、私どもやこばと会が答えられる範囲で答えさせていただきますと思います。

保護者： 話し合いを進めていくとのことですが、今とどう変わるのでしょうか。病後保育をされていますので、それを取り入れていくのでしょうか。大体でいいので、現時点でどのような変更を考えているのか教えてください。

こばと会： 基本的には、一気に何かを変えていこうとか、全部変えてしまおうといったスタンスは全く持っておりません。保護者の不安や子どもの気持ちも十分理解しております。もし私どもの園に違う法人が来て急に変更されたら嫌だと思っておりますので変更しません。行事等を引継ぐ為に合同保育があると思っています。ただ、合同保育が始まる前の段階で、今の行事はどうなるんですかと言われても、行事を体験していないため、何とも言えません。職員を派遣して報告を聞きながら、丁寧に引継ぐための合同保育であるべきだし、そのための体制がどうなるのかという質問はお受けします。合同保育に入った職員から聞き取りをしながら、運営がこばと会になった後も丁寧にやっていけるような体制や仕組みを作っていくという事です。事業についても病後保育をしたり、色々な徴収金を変えるとかは考えておりません。

一例を挙げれば給食のことがあります。こばと会で提供している給食の内容が公立より上回っているか下回っているかは皆さんに判断いただければいいのですが、公立の給食の献立をそのまま引継いでほしいのか、少しずつこばと会の新メニューを入れた方が良いのかについては、品目も多くなりますので、御意見をいただきたいところです。こばと会の給食をするのであれば給食室に一定の設備も

入れないといけないと考えていますので、工事を必要とする期間がある程度生じるかもしれません。その間はお弁当にするとかの提案をさせていただくかと思うのですが、いきなり何か中身を変えるということは考えていません。

修繕については吹田市と協議を行います。南保育園を見学したり、過去の修繕履歴を確認して、どこから修繕をしていかなければならないかを具体的に業者と検討します。来年度に耐震工事を予定しているとお聞きしているので、再来年度にこばと会が引継いで大規模な工事をしたら、在園児にとっては工事ばかりになってしまいます。負担になるため、計画については皆さんと考えていきたいと思っています。そういった意味で三者懇談会を非常に重要視しております。御意見をいただけたら、その後の事業計画が非常に策定しやすくなると考えております。

保護者： こちらの聞きたいことは三者懇談の場で聞いてほしいということなんですか。

こばと会： 聞きたいことがあったら保護者会で取りまとめていただいて、事前にいただきたいです。三者懇談会の出席者がその場でやります、やりませんとは言えないので、持ち帰って検討したうえで、こばと会として返答しないとイケないと思います。もちろん意見はその時に言っていただいたらいいんですけど、持ち帰った後に返答させていただくということもあります。

保護者： 質問を事前に渡して答えを用意してもらうよりも単純な疑問や不安を解消したいです。いきなり質問状作ってくださいと言われても、何を質問すればいいか分からないです。

こばと会： 今日は園長と理事長ですが、保育の事をもっと知りたいということであれば、保育士を連れてきて一緒に話をするということも可能です。保護者会の皆さんでこんな懇談会をしたい、これは役員同士で話し合いたいとかを決めていただき、打ち合わせをさせていただけたらいいかなと思っています。

保護者： 設備の問題や職員の問題、保育の内容等もあり、多岐に渡っているためちょっと掘みきれません。テーマを決めてもらえるとこちらイメージが湧きやすいです。

吹田市： 園長とも相談して、今回はこのテーマという形で作っていただけらと思います。基本は南保育園の保育をベースにということになっているので、テーマ別に話していただけらと思っています。

保護者： いきなり三者懇談会となってしまうと、何を質問して良いのかわかりません。保護者だけで話し合える場を持って意見をまとめて、三者懇談を迎えると言いやすいと思います。

吹田市： アンケートの結果が保護者の皆さんに伝わっていなかったら言いにくいという意見が保護者からありました。その点については南保育園の運営委員会で決めてもらったらいいと思いますので、今出ている意見をまとめて話合っただけららと思います。

保護者： 子どもを見てくださっているのは先生なので、先生の意見も母親、父親は聞きたいと思いますが、職員の意見は三者懇談会の場で反映されるのでしょうか。

吹田市： 職員はお母さんやお父さんたちの思いをしっかり聞いて引継ぐために、三者懇談会に出席します。ただし、職員同士の話し合いの場があるので、職員の思いは園長から伝わり、反映されると思います。

保護者： 南保育園の先生とこばと保育園の先生同士でお話し合いはありますか。

吹田市： 子ども達の事を含めて、合同保育の中できちんと話し合いをします。

保護者： こばと会の給食のメニューを入れるのも悪くないと思いますが、毎日お弁当を作って持ってくるということですか。

こばと会： 他市の民営化について学ばせてもらったりしていますが、給食室の改修工事が長期に渡る場合、お弁当を取るという事例がありました。機械を入れるだけでしたら、一日で済むので、土曜日等の利用が少ない時にやることも可能です。ただ、床を塗ったりする工事になると、乾くまで一定期間使えないので、皆さんと相談した

うえで、作るのが御負担であれば、お弁当ということもあるかもしれません。それは吹田市さんとも協議をして認めていただかないといけないと思います。

保護者： 基本的にはそういった負担はないということですか。

こばと会： 合意を得てからするというのが、この民営化のルールになっています。提案して駄目ということになれば、色々な工夫を皆でしていきたいと思います。

保護者： こばと会の父母会は公立以上に活発だと噂で聞いたことがあります。父母会の動きは変わるんですか。

こばと会： 保護者会は保護者が運営されており、私たちは入らずに自分達で決めておられます。保育室に入らないでいける部屋があり、その鍵を会長さんに預けているので、そこで自由にやっています。

4 閉会

吹田市： 本日はこれで閉会させていただきます。日程等については会長やこばと会と調整させていただきます。遅い時間までありがとうございました。